

【講演者プロフィール】



柳澤 厚生 点滴療法研究会マスターズクラブ 会長

杏林大学医学部卒、同大学院修了。医学博士。杏林大学保健学部救急救命学科教授を経て、2008年より国際統合医療教育センター所長。2008年点滴療法研究会会長、2009年第10回国際統合医学会会頭、2011年国際オーソモレキュラー医学会殿堂入りし、2012年会長に就任。2015年事業構想大学院大学客員教授。

日本で初めてマイヤーズカクテル、グルタチオン療法、高濃度ビタミンC点滴療法を導入。

最新著書に「ビタミンCがガン細胞を殺す」「超高濃度ビタミンC点滴療法ハンドブック」(角川SSC)、「グルタチオン点滴でパーキンソン病を治す」、「つらくないがん治療 高濃度ビタミンC点滴療法」、(GB)など多数。



松村 浩道 鎌倉元氣クリニック 院長

平成5年日本医科大学卒業。同大学付属病院麻酔科学教室。関東通信病院（現NTT東日本関東病院）ペインクリニック科、医療法人誠之会 氏家病院ペインクリニック科・精神科、医療法人社団藍風会江の島弁天クリニックを経て、平成29年10月スピッククリニック（現 鎌倉元氣クリニック）院長。

著書に「対人関係のイライラは医学的に9割解消できる」（マイナビ出版）「脳腸相関で未病を征す」（七星出版）がある。